

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国民健康保険高額療養資金貸付事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市国民健康保険の被保険者の属する世帯

意図 高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けるため。

効果 被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。

【事業の内容】

(1) 国民健康保険高額療養資金貸付事業

- ・高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けを行うものであるが、申請者がいないため執行しなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100	100	0		100

主な支出内訳

- ・国民健康保険高額療養資金貸付事業  
国民健康保険高額療養資金貸付金

0

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-49 国民健康保険高額療養資金貸付事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	18 国民健康保険高額療養資金貸付事業					
主管課	保険年金課			関連課			
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	健やかで心豊かに暮らせるまち						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	0千円	0千円	0千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)						
	人員配置数	0.0人	0.0人	0.0人			
	人件費						
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費						
	市民1人当 りの経費						
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
変更なし						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 近年において新規の当該貸付事業の利用者は、皆無であるが、当該貸付事業を廃止した場合における制度上の不整合について詳細な検討が必要であること。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 近年において新規の当該貸付事業の利用者は、皆無であるが、当該貸付事業を廃止した場合における制度上の不整合について詳細な検討が必要であること。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 他市の状況の把握を行い、県の助言を受け、検討をした。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 貸付条例の廃止についての検討を行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	D	改善の必要性 有
	当該貸付事業に優る代替制度が定着しつつあるため、当該貸付事業の廃止の適否を検討する。				
担当課長氏名:		保険年金課長 相澤 昭弘			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	D	改善の必要性 有
	当該制度の位置づけ及び必要性を吟味し、廃止の方向で検討を進める。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		